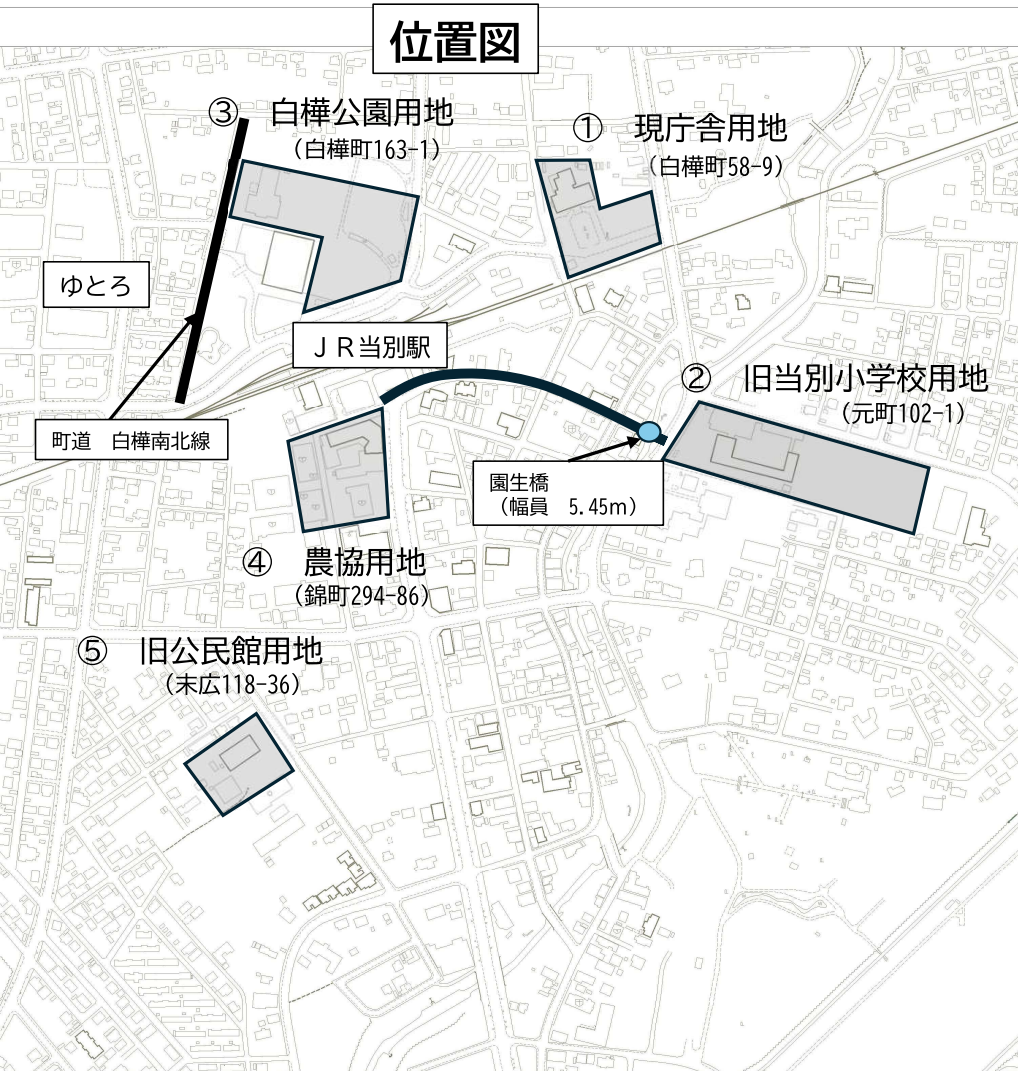


庁舎建設候補地について

資料 1

位置図



	候補地			
	①現役場庁舎用地	②旧当別小学校用地	③白樺公園用地	④農協用地
課題点	- 十分な建設面積を確保できるか。 - 線路近接工事となるため、線路から離れた建設が必要となる。また、建設条件によりJR北海道の施工基準による近接工事対策として高度な安全対策工事等が必要になりJR北海道受託工事となるため事業費が増加する。	- 屋内体育館は平成23年度に竣工しており、今後も当面の間使用できる。 - 既設校舎解体費（約3億円） - 現在、体育館及びグラウンドは町内スポーツ団体がそれぞれ使用している。 - 安全性の担保のために周辺の橋及び道路の改修が必要となる。特に用地正面のパンケ川にかかる橋（園生橋）が狭く、対面通行できない。 - 本町中心市街地と河川で分断されている。	- 都市公園に指定されているため、転用が難しい。 - 地域住民から反対の意見がある。 - 白樺コミュニティセンター用地（5,196㎡）が現庁舎に比べて小さい。 - 接道する道路（白樺南北線）の幅員が狭く、歩道もない。	農協との協議の結果、農協業務継続には別途施設が必要になるほか、問題が多岐にわたる。
敷地面積	8,500㎡	20,967㎡	19,920㎡	7,709㎡

	新たに加えるべき候補地
	⑤旧公民館用地
選定理由	- 来庁者や職員による商業店舗を利用した、新たな人の動きが見込まれる。 - 商工会や土地改良区、JA北石狩、とうべつ学園に近い立地である。
敷地面積	4,280㎡
課題点	- 敷地面積が現庁舎に比べて小さい。 - 旧公民館、旧郷土資料館の解体が必要。 - 接道する道路（末広線）は歩道はあるものの幅員がやや狭い。（ただし、旧国道337号であった時期あり。）